

記載例
※訂正する場合は、二重線＆押印(または署名)が必要です

様式第6号

卒業後、1年以内に申請してください。

令和8年5月1日

千葉市奨学金返還サポート補助金認定期間延長申請書

(あて先) 千葉市長

申請者(奨学金借入者) ※記名押印又は本人が署名してください。

ただし、押印又は署名以外の方法により本人からの申請であることを確認できる場合は記名のみで可。

先に千葉市から送付した「千葉市奨学金返還サポート補助金交付候補者認定通知書(様式第2号)」又は「千葉市奨学金返還サポート補助金交付候補者認定変更通知書(様式第4号)」の日付と番号(書類の右上に記載)を記入してください。
不明な場合は、千葉市役所雇用推進課(☎043-245-5278)までお問合せください。

住所 千葉市〇〇区〇〇町1-2-3

氏名 千葉 太郎

(連絡先電話番号) 090-0000-0000

(連絡先メールアドレス) 〇〇〇〇@〇〇〇〇〇.com

先に認定申請を行った方
(貸与型奨学金を借りている方)が申請してください。

令和6年5月8日付け千葉市指令経雇第〇号 千葉市奨学金返還サポート補助金交付候補者認定通知書又は千葉市奨学金返還サポート補助金交付候補者認定変更認定通知書により通知のあった認定について、千葉市奨学金返還サポート補助金交付要綱第7条の規定により、認定期間の延長を申請します。

サポート対象者 ※申請者と同一の場合は記入不要です。

(産業人材養成施設に在籍している(していた)方を記入してください。)

「サポート対象者」は、ポリテクカレッジ千葉又は関東能開大又はPTUに通う学生(または卒業生)を指します。

住所	千葉市××区××町1-2-3
氏名	千葉 小太郎

サポート対象者が産業人材養成施設卒業後、更に他の教育機関等において修学しているため

教育機関等の名称	関東職業能力開発大学校
延長を申請する期間	(修学期間) 令和8年4月1日～令和10年3月31日
就職予定	令和10年4月1日

サポート対象者が災害、疾病、負傷その他やむを得ない事由により市内企業への就業が困難なため

就職予定	____年____月____日	<input type="checkbox"/> 未定
市内企業への就業が困難な理由		

申請の理由がわかる書類
(在校証明書等)を添付してください。